

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念の3本柱は、1。能力に応じた自立支援2. 尊厳と権利の保持3. 地域の中で暮らしを継続である。毎朝、申し送り前に声に出し、目に届く場所に掲げ、絶えず意識できるように実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	入居されたら、GHの中だけの生活に留まることがないように、地域の「シルバーサロン」に参加したり、近所への買い物や喫茶店出かけたりをコロナ前に実施していたことを再開している。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	④ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会長、民生委員、家族などに議事録とともに、毎回、頂いた意見を参考に、サービス向上に委員会やミーティングを通じて活かしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営上分からない事や、制度の内容の指導などに疑問を持った時など、市町村担当者に、その都度、電話や直接窓口まで出向いて行き、指導助言を頂き、取り組んでいる。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	⑥ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束は行っていない。認知症の症状により身体拘束の3原則に照らし合わせ、他に対応する方法がないのか十分に話しあい実践している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている ⑦ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止指針を作成し、虐待の芽やグレーゾーンの不適切なケアについてスタッフ全員が研修を受け、虐待に繋がることを見つけた時は、必ず声に出して報告するようにしている。毎月虐待防止委員会を開き、議題に上がったものについては、情報収集し共有している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ZOOMなどで研修を受けた職員が伝達講習を行っている。講習会に参加できなかった職員に関しては、報告書にて確認してもらい周知徹底している。			
	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は充分時間をかけ、質問を聞きながらすすめている。又、加算の変更や料金に関する事柄は、その都度、書面にて説明し同意を得るようにしている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ② B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の議事録に意見書をつけ、ご家族、自治会役員、地域包括の方々にも意見、助言をいただくようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人事考課制度での個人面談を年2回導入しており、中間期、キャリアコンサルタントの資格を持つ所長と個人面談、年度末には法人代表者及び管理者を含め、複数的人数で面談を行い、小規模である強みを活かしきめ細やかに職員の意見を反映させるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員評価基準を設け、月単位、半期ごとに集計、評価することで、賞与、昇給に反映できるようにしている。又、個々の家族状況や急な体調変化に対しても変更、有給消化できるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	① A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新人職員は入社時、ステップアップシートを使い、メンバー職員とともにどこまで進んでいるか指導を受けながら、情報共有している。認知症実践者研修の対象職員には、会社が受講料を負担することや、受講日数に応じて出勤日にして対応している。また、毎月オンライン研修の機会を出勤時間内に受講できる時間を設けている。出勤でない職員が、eラーニン		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

13				グ等で自宅にて受講した基礎研修の受講料の負担や時間外手当を支給している。			
	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ ほとんどできていない	現在同業者との交流はできていない。今後交流する機会を作れるよう努力していく。また、法人内外、地域課題の解決に取り組んで、サービスの向上にも努めていく。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入所者の方を、何もわからなくなったとか、身体機能が低下して介助を要する人と捉えるだけでなく、入所者の方から、職員に対して心配した声掛けや仕草で勇気づけられることや、共に笑顔になる関係を大切にしている。おやつ作りや物づくりを一緒に行うことで、出来るところをやる機会が増えた。			
	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの情報や持っておられる写真やお手紙から、馴染みの方とのこれまでの関わりをお聞きするようにしている。外出できる時間や面会でできる時間は、感染症の状況に合わせて、その都度見直し、途切れないように、少しでも関わりが持てるようにと考えている。 入居前に行っていた畑仕事などは継続できるよう、家族と連絡を取りながら外出する機会をつくっている。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている ⑤ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩に出かけた時、入浴の時、リビングで寛ぎながら会話をする時に、今までの暮らし方、出来る事出来ない事を見極めたうえで、その人その人に合わせた活動と一緒にを行い、関わりを持つ中での入居者の方			

17				の表情や発言様子を、ユニットミーティングなどで情報共有し、検討している。			
	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が来所された時や電話で、普段の様子などお伝えし、ご家族の思いや要望などを聞くように心がけている。ユニットミーティング(サービス担当者会議)にて、それを共有し、話し合い、ケア計画を作成している。ご家族のサービス担当者会議参加までは至っていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝夕の申し送り時、タブレット入力記録した内容について確認し合い情報を共有、次の実践と介護計画の見直しに役立てている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	飲み込むことや嚥むことの力が低下してきた方の状態を多職種で必要性を相談した上で、歯科治療や口腔ケア指導を行ってもらっている。また、日常生活リハビリだけでは、下肢機能向上につながりにくい方の、訪問リハビリを主治医の指示を受けて、定期的に訪問してもらう機会を作っている。ご家族が遠方のお住まいの方が、状態変化し、受診が必要な時は、自費介護サービスや介護タクシーの利用に繋げている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	万石で「シルバーサロン」が再開され、以前のように参加のお声がけをいただき、住民の方と交流が始まった。また、ホーム内での職員のみで支援するだけではなく、自費介護サービスや医療保険サービスにも目をむけ地域資源は何かあるのかを把握に努めている。			

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と家族の希望に沿ってこれまで雇っていたかかりつけ医との関係性を絶やさないようにしている。通院が困難となった場合は、複数の往診医から選択していただいたり、協力医療機関と情報共有し、継続して医療を受けられるようにしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院された時、速やかに病棟の看護ステーションへ、これまでの生活の様子や日常生活動作などケアプランを添えて、サマリーを提供している。また退院時には病院からホームへの生活はスムーズに行くよう、キーパーソンを設け、情報提供してもらい、退院近くなったら可能であればカンファレンスを開き、必要なケアや福祉用具などを揃えるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、急変時希望書、看取り指針の説明をした上で、ホームで体調が変化した時、どのような医療を受けたいか、最期はどこで迎えたいかなど、ご本人、ご家族、それぞれの意向を確認し書面でいただいている。また状態が悪化した事に、その都度、どのように過ごしていきたいかなど話し合い、情報共有し支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でできなかった各訓練を再開し、オンラインにて急変時対応研修継続して、対応に備えている。医療感染委員会のメンバーが中心となり、ミーティングで状態変化の救急対応などの内部研修を行うことや、救急車要請時に、救急隊に速やかに情報提供できる情報提供書を常に書き換え、職員へ周知している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	BCPを作成し、法定訓練回数以上に、火災訓練（消火、通報、避難）災害訓練（水害、夜間、地震）など想定を変えて1年に4回、定期的に行っている。問題点、改善点など意見を出し合っている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入居者や職員間での会話などで注意すべき対応は「虐待防止委員会」で中心に話し合いをしている。また、言葉遣いや対応をその都度見直しできるような合言葉を目に届く場所に掲げ意識づけを行っている。居室でのパット交換時にはドアを閉めてプライバシーを守っている。ご本人様の気持ちに沿った対応をし、無理強いはしない。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	大まかな日課はあるものの、自由に好きな場所で過ごしていただいている。仲間と一緒に過ごされたい時や、体操、レクリエーションなどの時間も希望に合わせて参加していただいている。軽家事（洗濯たたみ、台拭き、食器拭きなど）の手伝いをお願いすると率先して行なっていただける方や、マイペースに個人の時間を楽しんで、お昼寝や散歩をしたりして過ごしている。その人その人にあったりズムで生活している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	おやつ作りを企画し手作りおやつをみんなで作ることや、キッチンで作っている献立を話題に、食の楽しみや五感を通じて食欲が湧くような促しや支援をしている。日によってお弁当を配達してもらい、マンネリ化しないように変化を楽しんで頂いている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食ごとの摂取量は、食事、水分共に記録をしている。一人一人の摂取量の目安に応じて、体重測定を月1回行い、またアルブミンの値も血液検査結果を見て、毎月1回管理栄養士の方の指導を受けている。手作りおやつ時間を月一回企画し、栄養補給と食を楽しむ機会を創っている。			
	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	含嗽がうまくできない方や、口の開きが十分にできない方、入れ歯の不具合、舌の汚れなど、一人一人の状態に合わせた、ケア用品や、衛生に保てるケアの方法について、口腔衛生士にアドバイスを頂きながら、チェックポイントに気を付けて介助、見守りをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排尿、排便は、トイレに行った時、おむつ交換した毎に記録している。共通認識できるように、記録のサインや、BS スケールを用いた状態観察を行なっている。便秘ぎみな方には、下剤や坐薬などの使用頻度や方法は、一人一人の個々の状態に合わせて対応している。排泄の状況を確認している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は概ね週2～3回入浴する機会を設けている。その日入浴する方には、予定を相談し、希望を聞いて調整できるようにしている。気分に合わせて湯場を変えたりしている。職員の勤務体制や緊急時の対応を速やかに行うための理由から、夜間の入浴は行なっていない。			
	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の状況を見て居室で休息していただいたり、夜眠れなくて、何度もトイレやリビングを歩き来する方には、一緒に寄り添い安心してもらうような対応をしている。			
33							

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬状況について、申し送り、記録記入を行い情報共有している。変更された時には、薬剤師より説明を受けている。またその後の状態観察を行い、主治医への報告を密にしている。薬剤情報は職員がすぐに確認できる場所にファイルしてあるので、手にとって確認できている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	計算ドリルや塗り絵をする方、散歩が好きな方、洗濯たたみなどの家事が好きな方、それぞれの生活歴や得意なことを活かすことや、歌や体を動かすこと、会話などその方の楽しみ事に合わせて支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天気の良い日は、ホーム周辺の農道の散歩、近所のドラッグストアに買い物に出かけている。その他、年2回、バスを利用して道の駅や花見学など遠出をしている。家族様も参加していただいている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出した時には、ご家族から預かったお小遣いをお渡しして、欲しいものを選んで購入できるようにしている。少額でも安心感につながる方には、紛失の了解を得て自分で所持してもらっている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話したい方には、子機電話をお渡しし、職員がお繋ぎする。電話やビデオ通話がかかってきた時には、ご様子をお伝えし、会話の取次ぎをしている。また手紙や宅配物が届いた時は、お渡しした後、お礼などの電話を取り次いでいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	匂いや室温が良い状態を保つように、天窓を日中には開けることや、時間ごとの換気に心掛けている。また、各居室に湿温度計を置き、確認しながら適温を保っている。毎月季		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		節に合わせた壁紙づくりを行っている。またパッチワーク壁掛けやタペストリーを、四季ごとに共有スペースに掲げ、心地よく温かみのある空間にしている。			
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングで、他の入居者の方との会話をしたい時、同じ TV を共有したい時はリビングで過ごし、1 人居室で過ごしたい時は、意向に沿って過ごしている。また、行事の時のおやつの内容や、お誕生日の時にはどんなことをして過ごしたいかなどを、一緒に話合うようにしている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの情報だけでなく、昔からの友人ご夫妻や義妹様が面会に来られた時にも、これまでの関係性や思い出などをお聞きし、会話の様子などを見てケアに役立てることに心がけている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師の他、看護師やリハビリ職、歯科衛生士など多職種と日々の状態を共有しながら、体調変化があった時は、いち早く医療の必要性があるかを主治医に報告し指示をもるようにしている。健康診断や定期的な血液検査により栄養状態の把握に努めて管理栄養士などから指導を受けている。感染症予防に努め、感染症が発生した場合は速やかにBCPに沿って対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ⑥ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩が習慣であった方は、ご近所に散歩に出かけることを一緒に行い、新聞に毎朝目を通すことや、栄養サブリを飲む習慣のあった方は、継続して生活されている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族との写真、手紙やこれまでに書かれた俳画や作品などを居室に掲げることや読み慣れた書物を手元に置くこと、自分で縫われた衣服など着てもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	嗜好品の買い物や喫茶店などの外出、また散歩やご家族と一緒に外出されるなどを行っている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員はセンター方式アセスメントシートを用い、一人一人の入居者の方の状態を観察し、ケアに繋げることを話し合い、実践している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事やボランティアの方の訪問や、子供たちとの交流の場面は、普段以上に笑顔が引き出され、活気に溢れる暮らしができていた。現在はまだ制限がある中に、職員は日常的な会話で楽しみが持てるようなことに心がけている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の保育園児や中学生の職場体験などの交流を長年行ってきたが、感染予防対策に留意した中で、本年度は再開する予定である。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、ご本人へ親しみや安心をしていただけるようコミュニケーションやケアを行うよう日々心がけており、不安や不満につながる状態になった時には、ご家族や関係機関の多職種と話し合い、それぞれのご本人にとってより良い暮らしはどういうことなのかを一緒に考え、それに向けて実践している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	